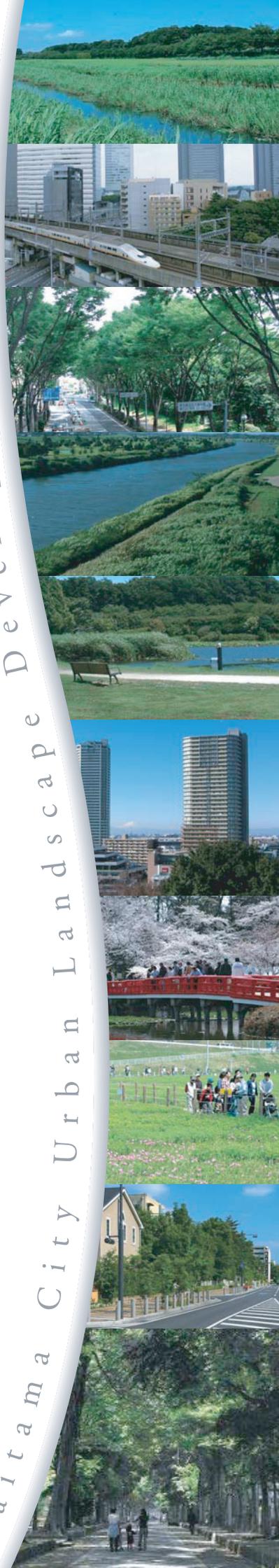


さいたま市 都市景観形成 基本計画

[概要版]

さいたま市

Saitama City Urban Landscape Development Basic Plan



目次

1	都市景観形成基本計画について	2
2	都市景観の現況と課題	3
3	都市景観形成の理念と目標	4
4	都市景観形成の方針	5
5	都市景観形成の推進	10
6	区別ビジョン	13

1 都市景観形成基本計画について

■ 都市景観の定義

「景観」とは、一般には、私たちが風景や景色と呼んでいるものとほぼ同じように使われていますが、広い意味では、目に見える姿だけではなく、音や匂いも含めて一体的な環境を捉えることもあります。本計画では、「自然景観」「歴史文化景観」「市街地景観」「暮らしの景観」を『都市景観』とします。

■ 都市景観形成

美しい都市景観は一朝一夕にできるものではなく、長い年月と地道な努力の積み重ねによってつくられるものであり、私たち一人ひとりが高い意識を持ち、取り組みを進めることにより、まちに愛着と誇りが生まれ、まちの魅力が高まるとともに、暮らす人や訪れる人々の心が豊かになるものと考えます。

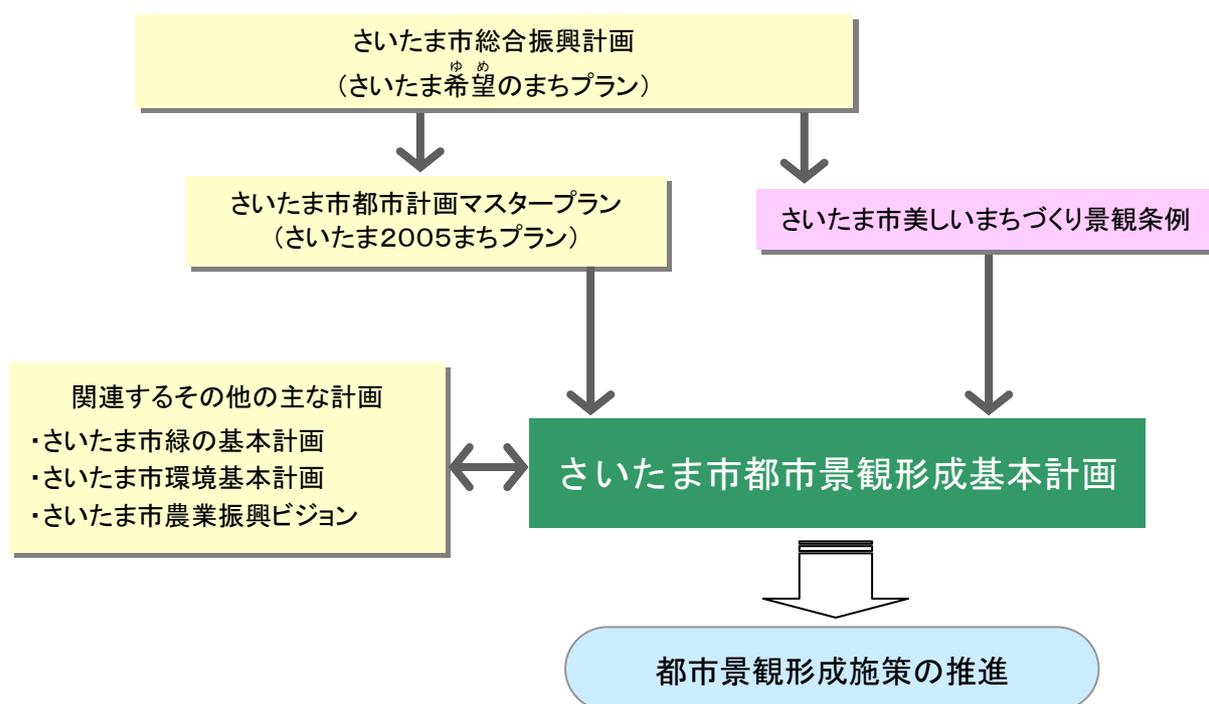
都市景観は共有の財産であるとの認識のもと、市民・事業者・行政が協力しあうことで、美しい都市景観を守り、直し、創り、育てながら、次代へと継承していくことが大切です。

■ 都市景観形成基本計画の目的

本計画では、良好な都市景観の形成を図るため、①理念と目標 ②方針 ③推進方策 を提示し、市民・事業者・行政の共通の指針とすることを目的とします。

また、都市景観形成に向けた取り組みは多岐にわたることから、国・県をはじめ、本市各部署の横断的な連携を図るとともに、市民や事業者のみなさんの理解や協力が必要となります。

本計画は、総合振興計画や都市計画マスタープランを上位計画とし、「さいたま市美しいまちづくり景観条例」に基づく都市景観形成のための基本計画として位置づけられます。



2 都市景観の現況と課題

■自然景観

見沼田圃と斜面林、荒川、元荒川などを骨格として水とみどりの景観が形成されています。



《課題》

- 水とみどりを守り、生かす

■歴史文化景観

氷川神社や氷川参道、盆栽村、岩槻城址など歴史や文化を伝える景観資源が点在しています。



《課題》

- 歴史文化資源を守り、生かす

■市街地景観

市街地は主として南北方向の鉄道に沿って形成され、特に浦和駅周辺から大宮駅周辺にかけては、商業・業務・居住機能が混在し、高層建築物が建ち並ぶ景観が見られます。



《課題》

- 風格とにぎわいのある都心の景観を創る
- 周辺と調和した形態意匠に配慮する
- 地域の特性を生かした景観を創る
- 幹線道路沿道の景観を整える
- 公共事業において先導的に良好な都市景観を創る

■暮らしの景観

伝統行事やイベントなどは、市民生活を彩る景観を形成しています。また、自然保護やまちづくりに関して多くの任意団体やNPO 法人が活動しています。



《課題》

- 市民・事業者・行政の協働で取り組む
- 眺望環境を整える

3 都市景観形成の理念と目標

《理念》

《将来の都市景観像》

ひとまちみらい
輝く都市景観の創造

[ひとが輝く都市景観]

将来のさいたま市は、市民一人ひとりが都市景観形成に携わり、自分たちの暮らすまちづくりを行っています。

人々は、自分たちの創ったまちに誇りを持ち、個性豊かで魅力あふれる都市景観の中で、輝き、生き生きとして暮らしています。

[まちが輝く都市景観]

将来のさいたま市は、落ち着いた風格を備えながらも、多くの人々が訪れ、にぎわいと活気にあふれています。

見沼田圃や荒川、元荒川などの自然景観は、人々の手により大切に守られ、豊かな水辺やみどりの空間を創っています。

地域では、それぞれの多様な特性を生かし、きらりと光る、個性豊かで魅力ある都市景観を形成しています。

[みらいに輝く都市景観]

将来のさいたま市は、日々の暮らしにより培われた歴史や文化、それが形となってあらわれた都市景観を、親から子へ、子から孫へと継承し、みらいへとつなげています。

《目標》

目標 1

風格やにぎわいの感じられる都市景観形成

本市の都心や副都心などを中心に、大都市の顔にふさわしいシンボル性を備えた魅力ある都市景観の形成を目指すものです。



目標 2

水とみどりがきらめく都市景観形成

見沼田圃、荒川、元荒川を自然景観の骨格を形成する重要な軸と位置づけるとともに、点在する水辺やみどりを大切にし、身近な市民の暮らしにうるおいを与える都市景観の形成を目指すものです。



目標 3

暮らしに根ざした安らぎとうるおいの都市景観形成

暮らしの場における、快適な住環境や地域に調和した、安らぎとうるおいのある都市景観の形成を目指すものです。



目標 4

歴史と文化がいきづく都市景観形成

歴史や文化を大切にし、特色ある景観資源として生かすとともに、新たな都市景観を創出することで、地域の誇りや愛着の持てる都市景観の形成を目指すものです。



目標 5

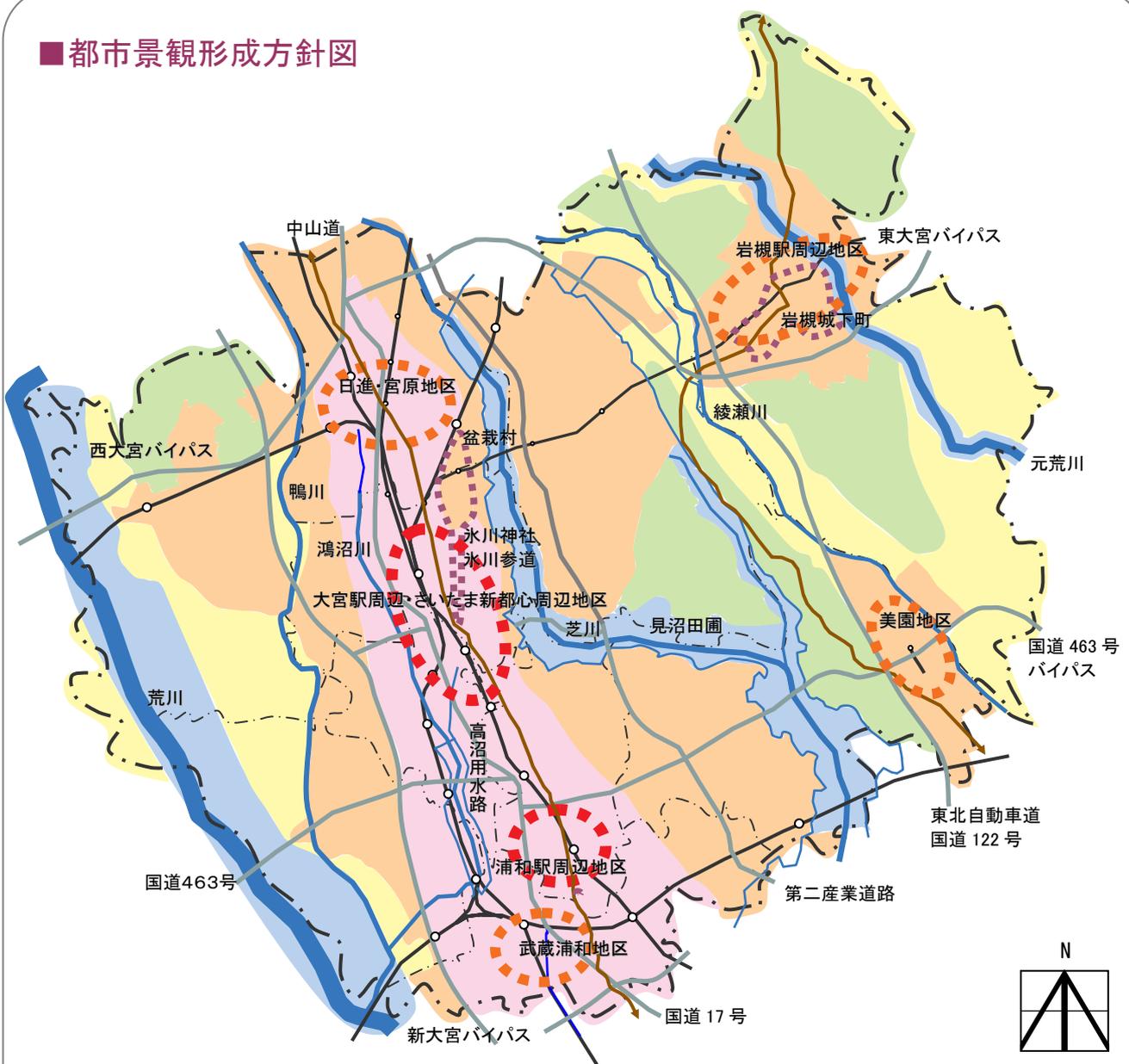
人をつくり、ともに取り組む都市景観形成

市民の参加と人づくり及び市民・事業者・行政の協働により進める都市景観の形成を目指すものです。



4 都市景観形成の方針

■都市景観形成方針図



●景観ゾーン

- 市街地景観ゾーン
- 住宅地景観ゾーン
- 武蔵野景観ゾーン
- 田園景観ゾーン

●景観軸

- 見沼田圃景観軸
荒川景観軸
元荒川景観軸
- 水の景観軸
- 道路景観軸
- 歴史的な道路景観軸
- 鉄道景観軸

●景観拠点

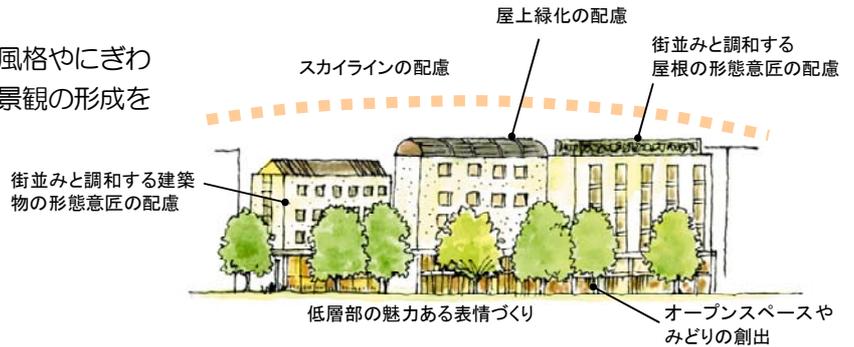
- 都心景観拠点
- 副都心景観拠点
- 歴史文化景観拠点
- 市界
- 区界

景観ゾーン

土地利用や市街化の状況から、同質の景観特性を持つ領域を有し、広がりやまとまりのある都市景観の形成を目指す地域を景観ゾーンとして位置づけます。

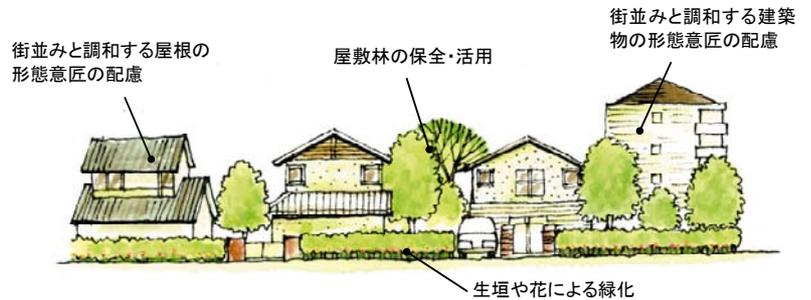
◆市街地景観ゾーン

本市の中心的な市街地として、風格やにぎわいの感じられる、魅力ある都市景観の形成を図ります。



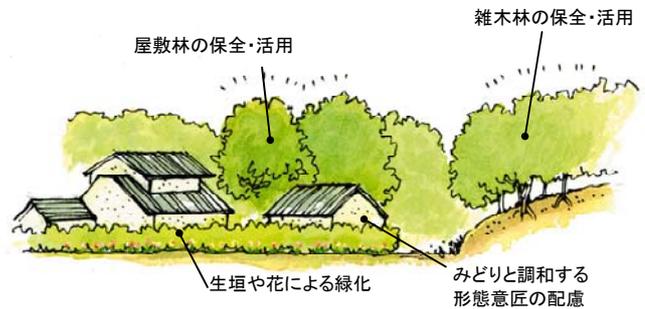
◆住宅地景観ゾーン

土地利用に応じてさらなるみどりの保全と創出を図るとともに、住宅地を中心とした、うるおいのある都市景観の形成を図ります。



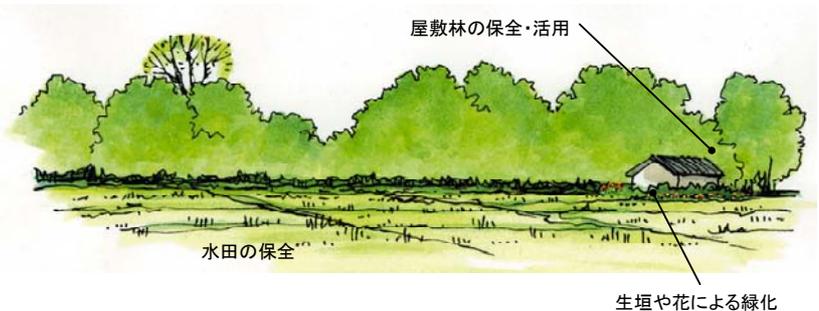
◆武蔵野景観ゾーン

地形や雑木林・屋敷林などの背景となる自然やみどりを大切にし、周辺と調和した都市景観の形成を図ります。



◆田園景観ゾーン

広がりのある水田の景観や点在する屋敷林、生垣などのみどりを保全するとともに、水と親しめる場づくりを進め、安らぎのある田園景観を守ります。

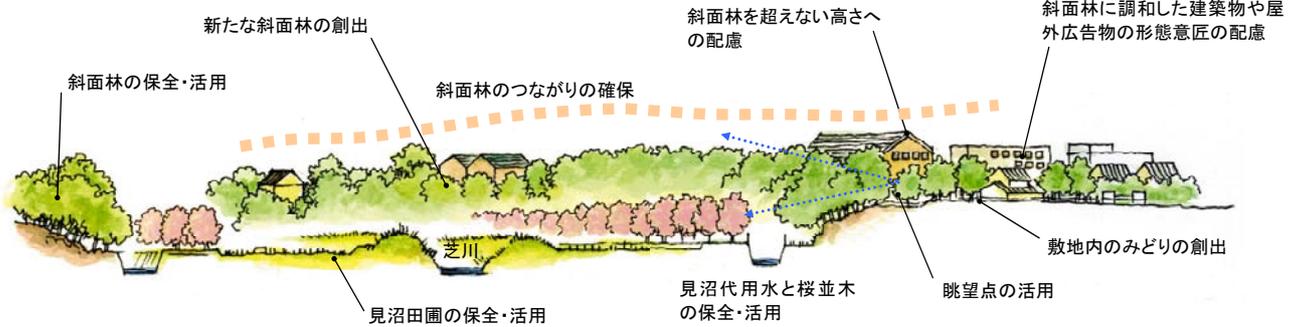


景観軸

本市の景観の骨格を形成し、連続性のある線的な都市景観の形成を目指す区域を景観軸として位置づけます。

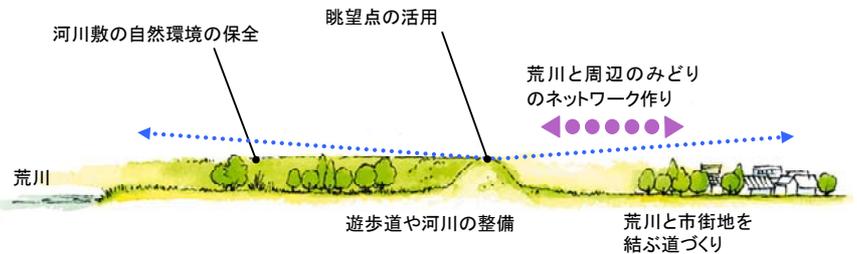
◆見沼田圃景観軸

見沼田圃と斜面林などを一体的に保全していくことを基本とし、眺望や斜面林に配慮し、調和のとれた都市景観の形成を図ります。



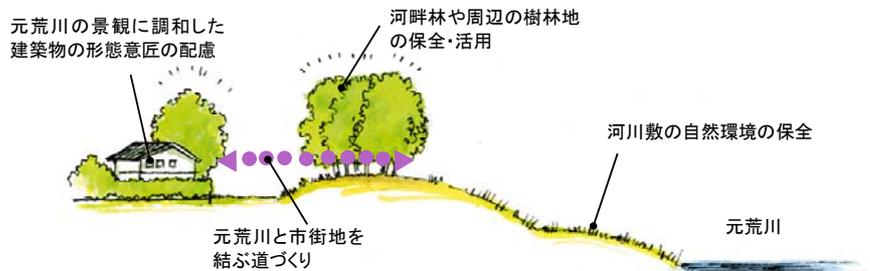
◆荒川景観軸

荒川沿いに広がる自然や農地の保全・活用に努めるとともに、これらの豊かな自然景観との調和を図ります。



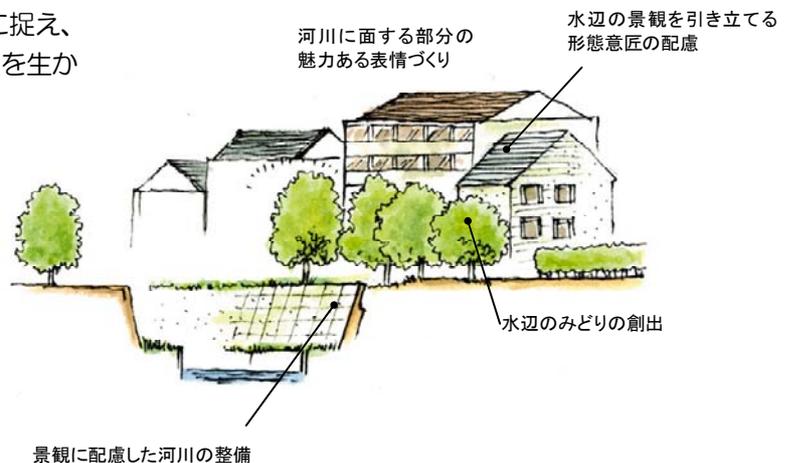
◆元荒川景観軸

河畔林や周辺の樹林地、歴史資源などの保全や活用を図るとともに、水辺に親しめる都市景観の形成を図ります。



◆水の景観軸 (鴨川 綾瀬川 鴻沼川・高沼用水路 など)

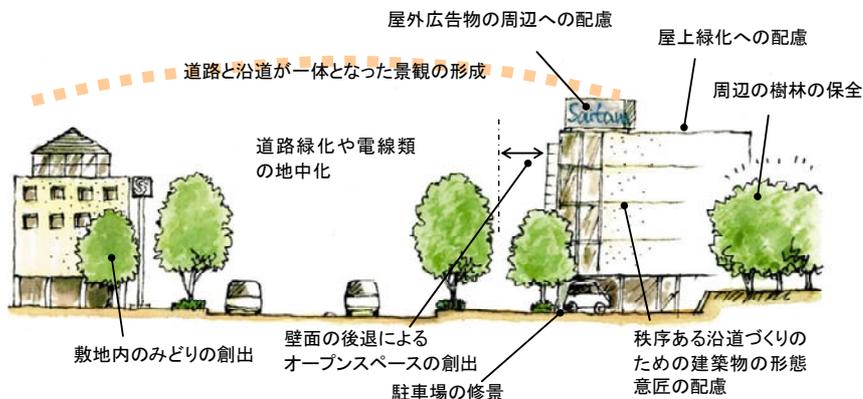
河川や水路と周辺の街並みを一体的に捉え、水辺の景観を保全するとともに、水辺を生かした都市景観の形成を図ります。



景観軸

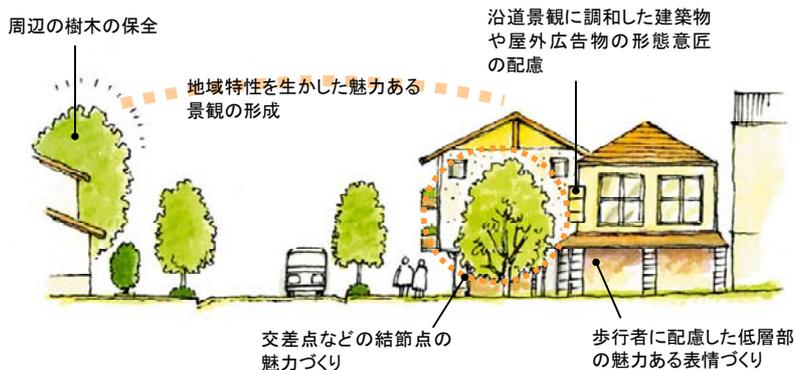
◆道路景観軸（国道17号 国道463号 新大宮バイパス 第二産業道路 など）

うるおいある道路整備を進めるとともに、沿道において周辺に調和する良好な都市景観の形成を図ります。



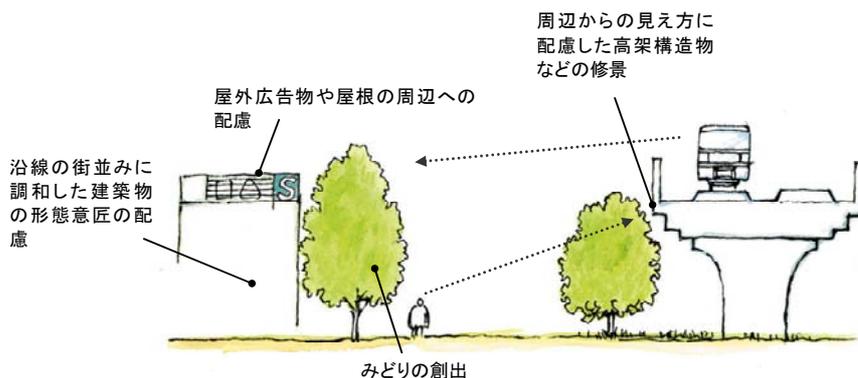
◆歴史的な道路景観軸（中山道 日光御成道 など）

沿道に残る歴史文化資源を保全し、活用を図ることで、歴史や文化に調和した良好な都市景観の形成を図ります。



◆鉄道景観軸

沿線の建築物や屋外広告物について、車窓からの視線に配慮するとともに、鉄道施設の修景などを図ります。



重点的に取り組む景観軸

- 見沼田圃と斜面林の景観形成（見沼田圃景観軸）
- 中山道や日光御成道と沿道の景観形成（歴史的な道路景観軸）

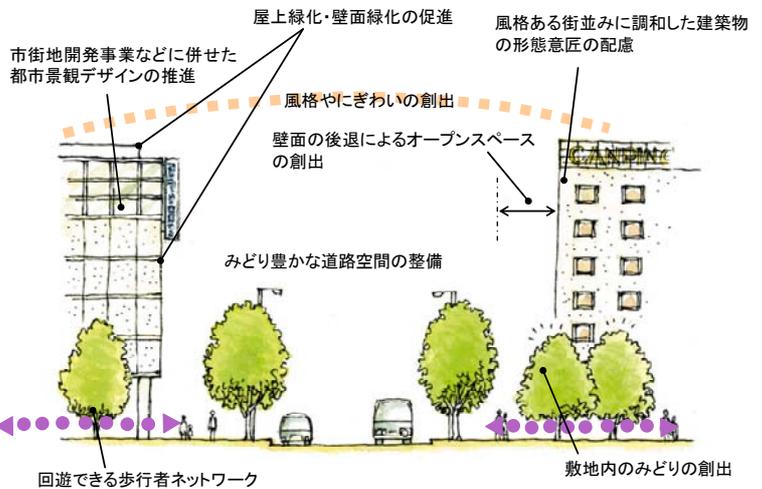
景観拠点

本市の顔となる求心性のある地区や歴史文化の特色を色濃く残している地区、新たな市街地が形成される地区など、特色を生かした都市景観の形成を目指す地区を景観拠点として位置づけます。

◆都心景観拠点

(大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区
浦和駅周辺地区)

周辺の歴史文化資源とのつながりに配慮し、風格やにぎわいの感じられる、魅力を備え、本市の顔となる商業・業務地を中心とした都市景観の創出を図ります。



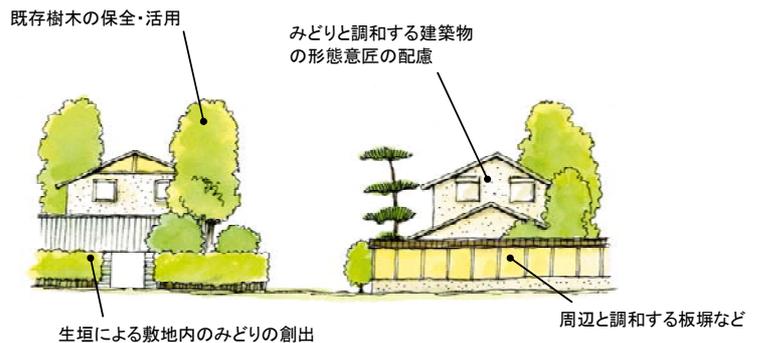
◆副都心景観拠点

(日進・宮原地区 武蔵浦和地区 美園地区
岩槻駅周辺地区)

各地区における都市基盤の整備とともに、地区の特性に応じ、個性の感じられる、魅力ある拠点の都市景観の形成を図ります。

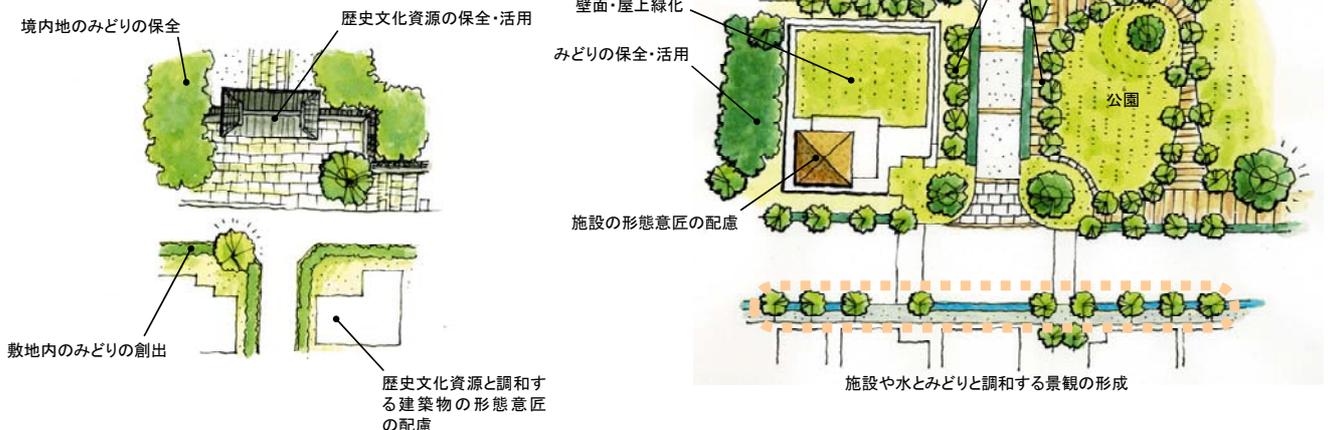
◆歴史文化景観拠点 (氷川神社・氷川参道 盆栽村 岩槻城下町 調神社)

歴史文化資源の保全を図るとともに、地域の歴史的なイメージと調和する都市景観の形成を図ります。



◆身近な景観拠点 (駅周辺景観拠点 施設・街並み景観拠点 みどりの景観拠点 社寺景観拠点)

地区の特色ある景観資源を保全・活用し、周辺を含め一体的に調和のとれた良好な都市景観の形成を図ります。



重点的に取り組む景観拠点

- 都心地区の景観形成 (都心景観拠点)
- 盆栽村と氷川神社周辺の景観形成 (歴史文化景観拠点)
- 岩槻城下町の景観形成 (歴史文化景観拠点)